

長久手市行政評価票

事業番号	25	事業の名称	尾張市町交通災害共済加入促進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	市民の生活安定と福祉増進への寄与のための交通災害に関する相互共済制度の普及のため、交通災害に備え、市民の共済加入を促進するとともに、事故に遭いやすい高齢者や児童に対し共済会費を市が負担する。なお、民間保険の普及や子ども医療費無料対象の拡大に伴い、市負担について見直しを行う。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・尾張市町交通災害共済加入市町11市町(北名古屋市、岩倉市、扶桑町、豊山町、豊明市、東郷町、日進市、尾張旭市、清須市、大口町) ※補助制度:北名古屋(中学生以下と70歳以上に半額補助)、岩倉市(75歳以上と身体障害者手帳又は療育手帳所持者に全額補助)、扶桑町(小中学生と70歳以上、身体障害者手帳等所持者に半額補助)、豊山町(中学生以下と70歳以上に半額補助) ・新城北設交通災害共済(新城市)…掛金 一人年額360円						
事業期間	事業開始年度	昭和46年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	住民基本台帳に記載されている人					うち	一般財源	5,380	5,166	5,549	5,463	5,809
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	加入率の向上と制度の利用促進。						国費・県費					
							地方債					
					その他							
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明	
						H26目標値	設定の根拠	H26予算	H26決算						
①	尾張市町交通災害共済加入促進事業	住民基本台帳に記載されている人	全世帯に申込書を送付するとともに、広報ながくての折込みチラシ、市内回覧等によるPRを実施。また、小学生及び70歳以上の高齢者については、市が掛金を負担することで	加入者数14,667人、共済掛金総額7,322千円、うち市補助金額4,579千円、見舞金給付件数30件、支給額2,510円	加入率	28.0	26.8	%	平成24年度から加入率はほぼ横ばいで推移しているため、この水準を維持する。	5,380	5,166	5,549	5,463	5,809	B 加入率はほぼ横ばいで推移している一方、市が扶助する対象者は年々増加している。近年の行政が掛金負担をする市町村の減少、民間の保険制度が充実する中、本市の補助制度を見直す必要がある。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	尾張市町交通災害共済加入促進事業		